



## 2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月1日

上場会社名 株式会社タスキ 上場取引所 東  
 コード番号 2987 URL <https://tasukicorp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柏村 雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 狩野 雄一郎 TEL 03 (6812) 9330  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月2日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年9月期第3四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	11,922	—	1,766	—	1,618	—	1,116	—
2022年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 1,116百万円 (—%) 2022年9月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	88.06	—
2022年9月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2022年9月期第4四半期より連結財務諸表を作成しているため、2022年9月期第3四半期の数値、対前年同四半期増減率及び2023年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	16,705	6,705	40.1
2022年9月期	12,621	3,862	30.6

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 6,705百万円 2022年9月期 3,862百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2023年9月期	—	21.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	22.00	43.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	34.4	2,270	32.4	2,080	32.4	1,440	32.3	110.48

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期3Q	14,087,200株	2022年9月期	11,744,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	96株	2022年9月期	96株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期3Q	12,679,562株	2022年9月期3Q	11,743,904株

(注) 当社は、2021年12月10日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料につきましては、2023年8月1日にT D n e t 及び当社ウェブサイトへ掲載予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスが感染法上の分類の5類へ引き下げとなり、感染対策としての行動制限等が解除され、コロナ前の日常を取り戻しつつあるなかで、経済活動の回復が期待されております。しかしながら長期化するロシアのウクライナ侵攻や米中関係など地政学的リスク等を背景としたインフレ・コスト高の進行等、世界経済の影響は極めて不透明な状態にあります。特にエネルギー価格、原材料価格の高騰は日本国内にも大きく影響を与えることが想定され、わが国の経済を下押しするリスクにも備えが必要と考えます。

当社が属する不動産業界においては、円安による海外投資家の参入もあり、業界全体として堅調な事業環境ではあるものの、前述の原材料高騰の影響を受け建築費の上昇傾向は続いており、収益力強化に向け各企業の工夫が必要となっております。

当社では収益の柱を増やすべく、新たなビジネスモデルを積極的に展開しております。当第3四半期連結累計期間においては、従前より取り組んでいるIoTレジデンス販売に加えて、オフバランススキームの第1号不動産私募ファンドの組成や、リファイニング物件の仕入れ・販売などを実施いたしました。今回組成した不動産私募ファンドには社会的意義の大きい保育園や、環境負荷の小さいリファイニングを行った物件を組み入れることで、ESG投資に適う商品設計としております。

安定したストック収入を期待できるSaaS事業においては、テクノロジー活用がより身近になっているということもあり、順調に導入社数を増やしております。引き続き、IoTレジデンス事業で培ったパイプラインを活用し、認知度の向上と契約社数の積上げに注力していく方針であります。

また、クラウドファンディング事業においては、2023年5月に募集を開始した第5号ファンドが、募資金額に対して251%の応募を集め満額申し込みを達成し、予定通り2023年6月1日より運用を開始しております。不動産クラウドファンディングは少額で参入できる投資商品として人気を集めております。引き続き「不動産×IT」や「不動産×金融」を活用したサービス提供と、認知度の向上を図ってまいります。

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は119億22百万円、営業利益は17億66百万円、経常利益は16億18百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億16百万円となりました。

なお、当社は2022年9月期第4四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較は記載しておりません。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### (Life Platform事業)

新築投資用IoTレジデンス販売及び開発用地販売の合計で44件の引渡しを行いました。売上高は118億14百万円、営業利益は17億19百万円となりました。

#### (Finance Consulting事業)

売上高は1億11百万円、営業利益は23百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の説明

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ40億84百万円増加し、167億5百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末と比べ40億78百万円増加の161億50百万円、固定資産は前連結会計年度末と比べ6百万円増加の5億54百万円となりました。

流動資産の主な増加要因は、販売用不動産が前連結会計年度末と比べ7億37百万円減少した一方で、仕掛販売用不動産が前連結会計年度末と比べ22億19百万円、現金及び預金が前連結会計年度末と比べ20億46百万円増加したことによります。

##### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ12億41百万円増加し、99億99百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末と比べ2億42百万円増加の57億1百万円、固定負債は前連結会計年度末と比べ9億98百万円増加の42億98百万円となりました。

流動負債の主な増加要因は、1年内返済予定の長期借入金が前連結会計年度末と比べ3億21百万円減少した一方で、短期借入金が増加したことにあります。

固定負債の主な増加要因は、長期借入金が増加したことにあります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ28億43百万円増加し、67億5百万円となりました。増加要因は、株式発行により資本金及び資本準備金が前連結会計年度末と比べ合計で24億10百万円増加したほか、剰余金の配当6億83百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益11億16百万円を計上したことにより、利益剰余金が前連結会計年度末と比べ4億33百万円増加したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の業績につきましては、2023年2月7日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、当該業績予想については、本資料の日付時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,711,344	5,757,724
受取手形及び売掛金	—	205,633
販売用不動産	1,302,631	565,519
仕掛販売用不動産	5,748,830	7,968,106
原材料及び貯蔵品	827	691
前渡金	115,400	178,685
短期貸付金	1,145,000	1,423,000
その他	48,423	51,108
流動資産合計	12,072,456	16,150,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	9,992	11,700
機械装置及び運搬具 (純額)	1,294	566
工具、器具及び備品 (純額)	3,582	9,710
その他 (純額)	805	—
有形固定資産合計	15,675	21,977
無形固定資産		
ソフトウェア	35,724	4,256
その他	62,722	20,304
無形固定資産合計	98,447	24,560
投資その他の資産		
投資有価証券	319,562	355,487
繰延税金資産	61,065	48,464
その他	104,748	155,606
貸倒引当金	△51,440	△51,440
投資その他の資産合計	433,936	508,118
固定資産合計	548,059	554,656
繰延資産		
開業費	247	202
創立費	465	368
繰延資産合計	712	570
資産合計	12,621,228	16,705,695

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	84,292	108,190
短期借入金	1,261,700	2,018,300
1年内返済予定の長期借入金	3,300,258	2,978,274
1年内償還予定の社債	54,000	54,000
未払金	141,919	51,354
未払法人税等	345,426	258,246
契約負債	79,500	38,000
賞与引当金	20,478	11,690
役員賞与引当金	35,264	—
その他	136,558	183,451
流動負債合計	5,459,397	5,701,506
固定負債		
社債	182,000	145,000
長期借入金	3,073,238	4,122,240
退職給付に係る負債	12,573	13,967
その他	31,676	17,239
固定負債合計	3,299,487	4,298,446
負債合計	8,758,885	9,999,952
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,049,640	2,254,773
資本剰余金	734,640	1,939,773
利益剰余金	2,078,156	2,511,288
自己株式	△93	△93
株主資本合計	3,862,343	6,705,743
純資産合計	3,862,343	6,705,743
負債純資産合計	12,621,228	16,705,695

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	11,922,099
売上原価	9,097,591
売上総利益	2,824,508
販売費及び一般管理費	1,057,790
営業利益	1,766,717
営業外収益	
受取利息	8,866
受取配当金	221
受取地代家賃	2,768
営業外収益合計	11,856
営業外費用	
支払利息	116,434
支払手数料	18,077
株式交付費	16,225
その他	9,070
営業外費用合計	159,808
経常利益	1,618,766
特別損失	
固定資産除却損	2,019
特別損失合計	2,019
税金等調整前四半期純利益	1,616,747
法人税、住民税及び事業税	487,635
法人税等調整額	12,601
法人税等合計	500,237
四半期純利益	1,116,510
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,116,510

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,116,510
四半期包括利益	1,116,510
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,116,510



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2023年2月24日開催の取締役会決議に基づき、公募による新株式発行及び第三者割当による新株式発行を行いました。2023年3月13日を払込期日とする公募による2,000,000株の新株式発行により、資本金及び資本剰余金が1,029,140千円ずつ増加し、2023年3月29日を払込期日とする第三者割当による298,500株の新株式発行により、資本金及び資本剰余金が153,599千円ずつ増加しております。

また、2023年1月17日を払込期日とする譲渡制限付株式報酬としての新株式発行により、資本金及び資本剰余金が22,394千円ずつ増加しております。

この結果、第3四半期連結会計期間末において資本金が2,254,773千円、資本剰余金が1,939,773千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	Life Platform事業	Finance Consulting事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,814,989	107,110	11,922,099	—	11,922,099
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,500	4,500	△4,500	—
計	11,814,989	111,610	11,926,599	△4,500	11,922,099
セグメント利益	1,719,694	23,053	1,742,747	23,970	1,766,717

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△4,500千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額23,970千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。